



海外安全衛生分科会

会場 京都経済センター（2F 京都産業会館ホール）〔京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78〕

交通 京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札口より徒歩2分

阪急京都線「烏丸駅」西改札口より徒歩2分（地下鉄及び阪急／地下道26番出口）

10月25日（金） プログラム（9:00開場）

9:30

1 海外プロジェクトHSE(労働安全衛生・環境) 監査の内製化事例報告

石油資源開発(株)
HSE統括部 企画グループ

下田 漠佳

当社は、HSE マネジメントシステムの導入に合わせ、2010年に海外プロジェクトの監査を始めた。コンサルタントの支援を受けてノウハウを蓄積し、社外研修も活用することによって2016年に内製化に成功した。約9割の費用削減を達成しつつ、社員の能力発揮の機会となっている。

9:50

2 中国の製造拠点における安全活動について

日鋳金属(蘇州)有限公司
精密圧延工場 工場長

蔣 冬青

従業員の危険感受性が低く、現場の危険な状態と作業員の危険な行動が重なり、16年度、3件の災害が発生した。危険感受性を高めるため、体感教育を取り入れ、また、危険源抽出を行い、回転体に製造装置と連動した安全柵を設ける等改善した。その結果、2年間の完全無災害を達成した。

10:10

3 海外(中国)活動紹介:社員参加型活動による、電動バイク通勤途上災害の大幅低減

Sony (China) Limited
Workplace Solutions Div.Facility&Safety Dept.

高峰 英紀

中国地域では、電動バイクの利用増加にともない通勤時の災害も増加。事故発生要因の8割以上を占める状況となった。法律上免許不要の為、安全管理が難しい中、要因分析の上効果的施策を社員参加型で模索。安全グッズ体験イベント等企画し意識向上を図り、65%以上の災害削減を実現した。

(10:30～10:40 休憩) 10:40

特別報告

台湾における安全衛生状況・制度と、AOSHO などグローバルな枠組みの中での活動

(社) 中華民国工業安全衛生協会
常務理事

姚 自強

台湾では、近年、各種取組により、労働災害発生状況は改善した。今後、人が満足して働くことのできる安全で健康的な職場環境づくりを目指す。中華民国工業安全衛生協会は、AOSHO や中央労働災害防止協会などグローバルな枠組みなどと連携しながら、人材育成などに取り組む。

11:10

特別報告

アジア太平洋労働安全衛生機構中国大会における企業の討議を見聞して

シンヨウモスデンシ
新考思莫施電子(上海)有限公司
総経理

佐久間 啓一

アジア太平洋労働安全衛生機構 (AOSHO) には、同地域を中心とした安全衛生団体が加盟し、毎年1回大会を開催している。本年9月、中国大会に参加し、企業の討議を見聞してくる予定である。令和3年10月の東京大会に向けて皆様に関心を持ってもらえるよう、一端を紹介する。

11:40